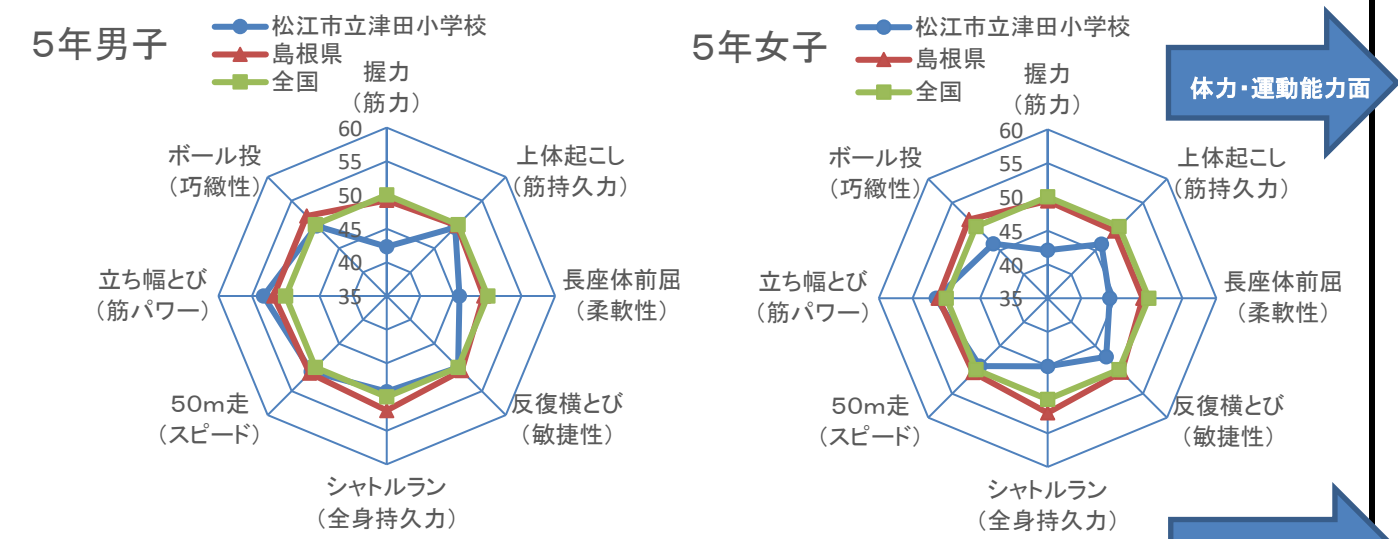
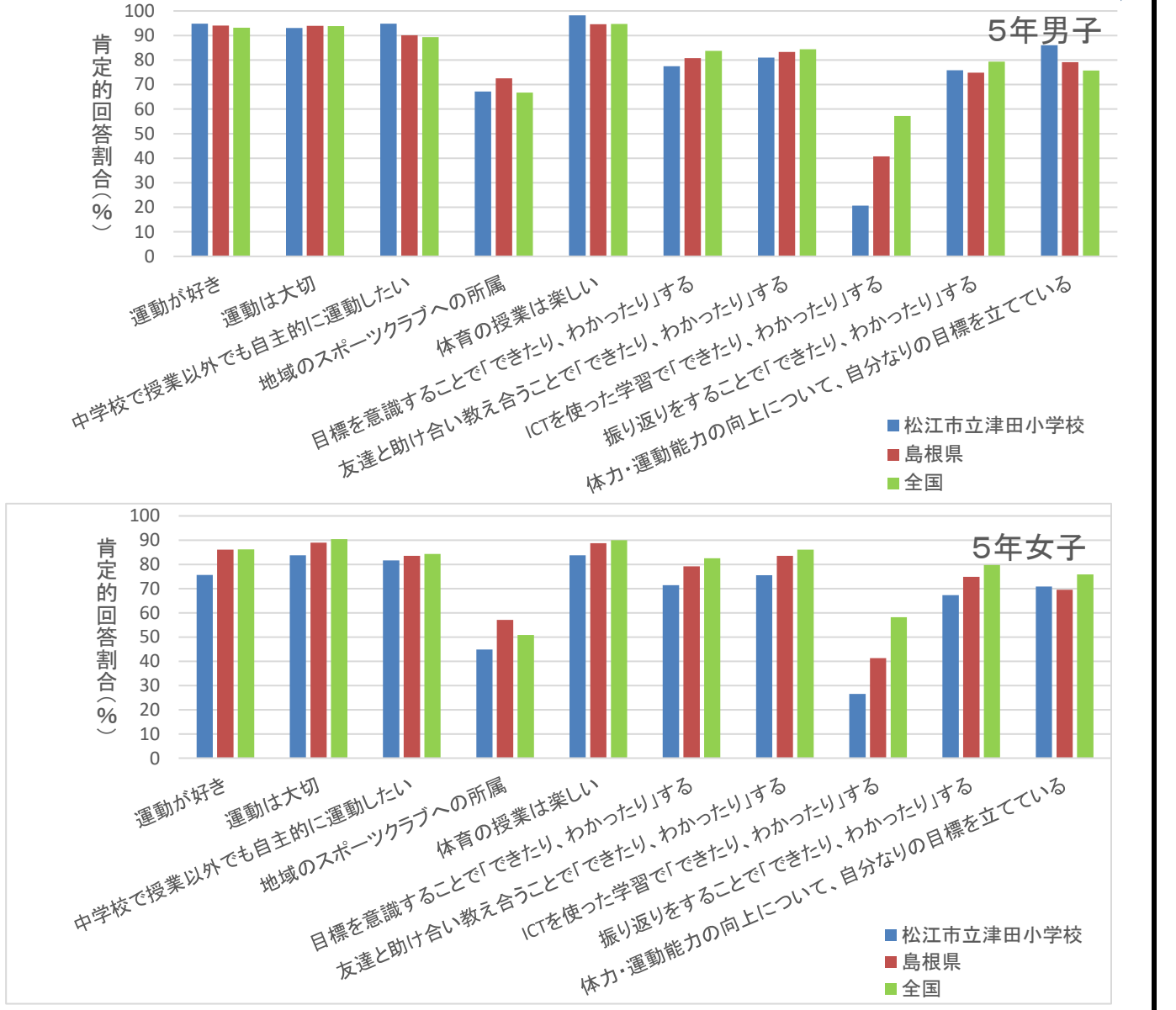


(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-7.7	-0.6	-4.2	0.0	-0.8	0.9	3.3	-0.3
女子	-7.9	-3.7	-5.8	-2.7	-4.9	-0.8	1.5	-3.6

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	1.6	-0.7	5.5	0.5	3.5	-6.2	-3.4	-36.5
女子	-10.6	-6.7	-2.7	-6.0	-6.3	-11.1	-10.6	-31.7
	振り返りをする ことで「できたり、 わかったり」する	体力・運動能力 の向上について、 自分なりの目標 を立てている						
男子	-3.6	10.3						
女子	-12.5	-5.1						

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和7年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
- ・日常の体育授業を見せ合うなどして、授業力の向上に努める。
 - ・新規教員への授業公開やフォローアップ研修の参観、また校内での研修会等、教具づくりを共同で行うなどして、運動が苦手な児童が意欲をもって授業に取り組むことができるようにする。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
- ・授業開始時の約束を決め、児童が主運動に取り組むための心と体の準備ができるようにする。(年度初めに確認する)
 - ・握力向上のための「雲梯やのぼり棒にぶら下がる運動」や柔軟性向上のためのストレッチ運動、持久力向上のための「折り返し持久走」や「5分間走」など、体づくりの運動の授業を工夫する。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
- ・児童会活動と連携(スポーツ委員会主催のスポーツ大会や、縦割り班活動での運動遊び等)し、全校が運動に親しめるようにする。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
- ・なわとびカードなど、家庭でも取り組めるものを工夫し、家庭と学校が連携して体力作りに取り組むことができるようにする。
 - ・小中一貫の体力づくりで以前確認した、「五種目歩走の運動」等を、効果的に授業に取り入れる。